

農政連だより

# みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

発行/熊本県農業者政治連盟 JA 熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3 電話 096-328-1284 編集責任者 木村 幸孝  
発行/毎月1回 15日発行 平成9年7月4日第三種郵便物許可

7月号

No.247

主な内容

- ・JA 全中が「政策討論集会」を初めて開く
- ・口蹄疫 制限解除延期に！
- ・JA あまくさ女性部活動報告
- ・ガンバッテいます  
(福田 賢二さん、前田 栄子さん)
- ・各連合会からのお知らせ



## 古墳祭り(和水町:写真提供 熊本県)

祖先の霊を奉るための行事である古墳祭りは、例年8月1日、2日の両日に開催され、今年で40回目を迎える。住民が古代衣装を身に着け、手に松明を持ち行列を練り広げる様は庄巻である。

## せせらぎ

七月六日、NHKの福地茂雄会長は、大相撲野球賭博問題で、「改革の方向が具体的に見えない。」として、名古屋場所のテレビ、ラジオ中継の中止を発表した。NHKの大相撲中継中止は、昭和二十八年以来初めてのことである。

それにしても、力士の野球賭博には呆れてしまつた。六月の初め、写真週刊誌で力士の野球賭博が報道されると、当初相撲協会は、力士の関与を一切否定した。しかしその後、大関琴光喜が、賭博の勝金を請求した際、自称暴力団員の元力士から、逆に口止め料として、三百五十万を脅し取られたことが発覚した。そして、更に一億円を要求されたという。

ところが後日、これらは大嶽親方(元貴闘力)が琴光喜を通じて請求したことが明らかになった。更に複数の現役力士の野球賭博が発覚すると、相撲協会は力士に野球を含む違法賭博への関与の自己申告を求めた。この結果、野球賭博に二十九人、賭けマージャン、花札等へ三十六人と、合計の六十五人の関与が明らかになった。

相撲協会は第三者による特別調査委員会を設置し、六月二十七日大嶽親方の解雇をはじめ、一連の力士の処分を勧告をまとめた。

多くの国民は、相撲関係者の根深い暴力団との関係への不信感がある。昨年七月の名古屋場所では、一般人には手に入らない土俵下の「維持員席」で、毎日暴力団が観戦するなどその繋がりの深さが指摘されていた。

七月七日、警視庁は野球賭博に関つた力士の相撲部屋など三十数箇所の家宅捜索に入った。テレビで放映されたその光景は異様だった。今後、野球賭博の実態解明は、警察に委ねられることとなる。

七月十一日より、名古屋場所が始まった。全国民が注目している。

# J A全中が「政策討論集会」を初めて開く

J A全中は6月8日、東京・砂防会館において民主党、自民党など7党の農業政策責任者（衆・参議院議員）による、「農業政策に対する考え方を聞く」、「政策討論集会」を初めて開きました。



▲討論集会に参加した7党の農業政策責任者

集会には、宮崎県を除く全国46都道府県のJA・連合会役員ら約1,000人が駆け付けました。本県からは、県連・専門連役職員、西尾県青協委員長、野中県女性協会会長ら12人が参加しました。

茂木全中会長は開会の挨拶で、「生産現場は農業所得の増大や農村の活性化を切実に願っている。所得を増大させる政策を確立して欲しい。」と述べ、各党の農業政策への反映を訴えました。また、富士全中専務がJAの政策提言（後掲）の概要について説明を行いました。

主党の一川保夫参議院議員が「将来にわたり安心して農業を続けられるよう、生産コスト割れに対し再生産が可能な所得を補償するのが基本だ。また、中山間地などの条件不利地は公的にしっかりと支える。」と強調しました。

これに対し、自民党の宮腰光寛衆議院議員は「恒常的な赤字に対する補償ではなく、農業の多面的機能を正當に評価する、日本型の直接支払制度をつくる必要がある。」と、民主党との違いをアピールしました。

その他、食料安全保障の確立、早急な過剰米対策の必要性、農林漁業の6次産業化の推進、規制制度改革対策などについて、各党間で活発な論戦が交わされました。

また当日は、宮崎県で発生した口蹄疫についての特別決議がなされ、全中畜産・酪農委員会の川井田畜産委員長が、一刻も早い口蹄疫の終息と生産者の経営回復をはかるため、「全国の組合員と役員が協同の力を発揮して、口蹄疫に苦しむ農家と地域を全力で支援する。」と宣言し、参加者全員で採択しました。

最後に、田代全中副会長は「政策提

言の実現を目指すとともに、規制制度改革への断固とした対応が重要だ。JAグループの総意を結集しよう。」と呼びかけ、閉会しました。

## J Aの政策提言

### ① 農業・農村の多面的機能にもとづく直接支払い

①直接支払いの算定は、農業の食料安全保障機能や多面的機能の価値評価を基本に、この機能を維持するための営農活動等による所得の安定確保が実現できる水準として検討する必要がある。

②この直接支払いに加え、生物多様性保全、環境保全などに資する取り組みに対する加算措置を行う必要がある。

### ② 需給・価格安定と所得確保を基本とした政策の確立

#### ア. 水田農業政策

①水田を最大限に活用し、わが国の主食である米の安定供給と、飼料用米等の振興により、食糧増産と自給率向上をはかる必要がある。そのため、主食用米については、直接支払いを下支えに、政府が定める生産数量に基づき、需要に即した計画生産、

棚上げ備蓄などの出口対策で需給・価格の安定対策を確立する必要がある。

② 水田利活用交付金における全国一律単価による支援に加え、地域裁量に基づく水田農業の協同の取り組みを促進する対策をより強化することが必要である。

③ 特に、21年産米については、政府の需要見通しを大幅に下回る販売不振と価格下落が続いており、このままでは、農家の経営や米モデル事業、今後の需給・価格安定に支障をきたすことから、政府の棚上げ備蓄の速やかな実施による需給調整対策が必要である。

### 1. 畜産・酪農政策

① 畜産政策については、畜種ごとの価格やコストの変動に対応して、経営安定・所得確保がはかれる仕組みが必要である。

② 肉用子牛補給金単価やマルキン補てん水準の引き上げなど、現行対策をより充実・強化することが必要である。

③ 酪農政策については、加工向けの支援対策を充実・強化し国産乳製品の生産拡大、需給と価格の維持機能の強化、生産者所得の向上をはかる必要がある。

### ウ. 野菜・果樹政策

① 野菜政策については、指定品目の拡大や補てん基準の引き上げ

などの拡充・強化をはかる必要がある。

② 果樹政策については、収入減少を生産者と国の積立てにより補てんする、経営安定対策の創設が必要である。

**(3) 地域農業を支える担い手に対するセーフティネット対策の確立**

① 市町村で策定する農業基本構想や地域水田農業ビジョン、JAの地域農業戦略等で位置づけられた認定農業者、集落営農組織、農業生産法人等を、地域農業を将来にわたって支える担い手として位置づけ、地域ごとに多様な担い手を育成すべきである。

② 地域・作物ごとに、生産者拠出など担い手自らの取り組みを前提として、価格や収入の変動が経営に与える影響を緩和するセーフティネット対策が必要である。

**(4) WTO・EPA対策と食料安全保障政策の確立**

① 食料自給率の極端に低いわが国における食料安全保障は、適切な国内生産の維持を基本に、備蓄と輸入の組み合わせで確保すべきである。このため、関税の大幅削減を前提とした所得補償ではなく、重要品目については適切な関税水準を確保することが必要である。

② WTOドーハ・ラウンド農業交渉については、農産物関税の大幅な削減と関税割当数量の大幅な増大等を求める現在の議長案は受け入れられない。多様な農業が共存できる新たな農産物貿易ルールの確立が必要である。

③ FTA・EPAはあくまでもWTOの補完として位置付け、交渉手国の決定にあたっては、食料安全保障の視点や自由化困難な品目への適切な配慮など、交渉戦略を再確立することが必要である。

### (5) 規制・制度改革対策

① JA・連合会の共同販売・共同計算や共同施設利用などの共同経済事業を支えている独占禁止法の適用除外制度は、欧米においても公正な競争秩序を維持するという主旨から、協同組合に対して同様に措置されており、協同組合活動を支える制度として引き続き措置する必要がある。

② 株式会社とは異なる協同組合であるJA経営の健全性を確保する観点から、JAグループ独自の相互扶助の仕組みである破綻未然防止の取り組み(JAグループセーフティネット)を有効に機能させるため、引き続き中央会監査制度を維持強化する必要がある。

～集会所の全中資料より～

## 口蹄疫制限解除延期に！

7月4日、宮崎市において新たに口蹄疫の疑いがある牛1頭が確認され、同農場で飼育されていた16頭すべてが、同日殺処分されました。

当初、6月18日以降新たな発生がなければ、7月16日に宮崎県内全域において移動・搬出制限が解除される予定でした。しかし、今回292例目が確認されたことにより、制限解除は7月27日以降にずれ込む見通しとなりました。

これまでに、感染畜・疑似感染畜およびワクチン接種を受けた家畜の殺処分と埋却作業を完了した頭数は、27万6千頭に達しています。これは、同県で飼育されている牛や豚の2割強にあたり、畜産農家は大きな経済的損失と心理的ダメージを被っています。

今後は、終息に向けた更なる防疫態勢の徹底はもとより、行政や関係団体等による資金繰りや雇用といった総合的な対策や、畜産農家を細やかに支援する体制が求められています。また、未処理の状態で各地の農場に大量に残っている糞尿の処理も、大きな課題となっています。

本県においては、7月11日から順次家畜市場が開設されていますが、県内22箇所に設置されている消毒ポイントでの、通行車両の消毒は継続して行われています。

また、「熊本県農協口蹄疫対策本部」が先に行った、国、県等に対しての支援要請の実現に向けて、一層の働きかけを行っていく方針です。

# 女性部活動報告

## ■ J Aあまくさ女性部 ■

J Aあまくさ女性部は13支部からなり、野中育代部長を中心に部員数は2,281名。高齢化に伴う部員数減少が悩みの中、昨年は御所浦町にも新たに女性部が立ち上がりました。

本年度は、目的別グループやフレッシュミズの育成に力を入れていきたいと思います。13支部それぞれに特色ある活動をしています。ほんの一部ですが紹介します。

### 御所浦支部 始動！

昨年10月に御所浦支部が設立しました。

第1回目の活動は、部員5人と支所長も参加してのクラフトバッグ作り。試行錯誤しながら、悪戦苦闘の約5時間。その甲斐あって、それぞれに雰囲気の違いとともによいバッグが完成！帰る頃には、「また今度は大きめのバッグに挑戦したいです。」と意欲を燃しています。

黒田支部長は「御所浦支部の活動は、今始まったばかりです。土地柄、何をしても不便な部分もありますが、たくさんの活動を通して会員を増やし、実のある部に育っていければと思います。」と話しました。

これからも御所浦支部は会員募集です。ぜひご参加ください！



### 小学生と郷土料理教室を開催

有明支部は2月26日、小学生と郷土料理教室を開きました。郷土料理は、その土地で採れる食材を使った昔から伝わる家庭料理。伝統の味を次世代を担う子供たちに伝え、部員自身が塩・しょうゆ・砂糖などの基本的な味付けを確かめ、食生活を見直そうと今回の料理教室を計画しました。



料理教室には、部員11人と、天草市立浦和小学校5年生ら25人が参加。実習の前に、園村早知恵総支部長が郷土料理について説明しました。同じだご汁でも、県内ではその土地で採れる野菜や魚介類を使った様々なだご汁があり、児童は興味深い様子で話に聞き入っていました。

実習では、有明町特産の干しダコを使った『たこめし』など3品を作りました。手間がかかり家庭で作ることが少なくなっている郷土料理ですが、試食した児童は「味がしみ込んでいて、とてもおいしい。お家でも作って食べたいです。」と部員に笑顔で話していました。

### 「フレッシュミズ部会」総会開く

フレッシュミズ部会は6月19日、天草市内で第4回の総会を開きました。フレッシュミズ会員70名出席のもと、2009年度収支決算など提出された議案について審議し、全て承認されました。

2010年度は、フレッシュミズの集いや研修などを行い、若い女性の輪を広げ、充実した活動を展開します。

また、総会終了後ミニバレー大会を行い、和気あいあいの中、フレッシュミズ部会の親睦を深めました。





福田 賢二さん  
JA本渡五和 果樹協議会々長

JA本渡五和果樹協議会々長福田さん  
を取材しました。福田さんは、昭和24年9  
月生まれの60歳。

名城大学農学部（果樹専攻）を卒業と  
同時に就農し、柑橘園約4haを経営。その  
内訳はデコボン2ha、天草晩柑1.5ha、  
ボンカン0.5haを栽培しています。家族  
構成は、93歳のお母さんと保育士の奥さ  
んの3人家族。3人の娘さんはそれぞれ  
家を離れて就職しています。

「私が子どもの頃は、水田、みかん栽培  
の他に豚やニワトリを飼っており、家の  
手伝いをよくしたものです。そして、昭和  
30年頃、当時高値であったボンカンを父  
が導入し、今日の基礎を築きました。しか  
し、徐々に値が下がり、約15年前にデコボ  
ンを取り入れられました。」とデコボン導入ま  
での経緯を語られました。

### 兄弟3人での共同作業

4haもの柑橘園経営。そのうち2haの  
デコボンは、路地1.1ha、ハウス0.9ha  
（加温75a、ビニール15a）の農作業は、大  
変なものです。「主な労働力は、ふたつづ

つ歳の離れた弟2人です。過去には分離  
独立の話もありましたが、給料制による  
今の方法で良かったと思っています。た  
だ、収穫の最盛期には3人の労働力では  
不足しますので、7〜8人のパートの方  
に延べ一ヶ月お願いしています。家内も  
保育士の仕事が休みの時には手伝って  
くれます。木にもスイスイ登りますよ。」と  
笑って話されました。

順風満帆に見える福田さんの経営です  
が、平成3年の台風17・19号ではボンカ  
ンの1/3は倒木し、果実の収穫は皆無  
に等しい被害に遭った時が最も辛かつ  
た。」。

### 年内出荷量県下No.1を達成！

果樹協議会は、柑橘部会（260名）、枇  
杷部会（68名）、栗部会（27名）の3部会で  
構成されています。柑橘部会の部会長でも  
ある福田さんは、13年前に同志と施設デコ  
ボン研究会を立ち上げました。「67名の会  
員による毎月定例の会合や先進地視察研  
修を行い、栽培技術の向上を目指し研鑽し  
ました。その結果、JA本渡五和は5年前  
からお歳暮用デコボンの年内出荷量が、宇  
城・北を抜いて県下No.1になりました。」  
とのこと。

### 好きな言葉

熟慮断行 「よくよく考えたうえで思  
い切って実行する。一果は家の鴨居に（乃  
木希典と書きされたこの掛け軸が、私が  
生まれる以前からありました。落款がな  
いので真偽のほどは定かではありません  
が、なんでも鑑定団に出してみようか？  
—と楽しく話されました。



生産者 前田 栄子さん  
JAかもとファーマーズマーケット「夢大地館」

### 夢大地館に出荷中

「夢大地館」はJA鹿本の直売所とし  
て、今年3月に開店しました。店内に  
は季節の野菜や惣菜がいろいろ。そこ  
で今が旬のスイカと、これからが旬と  
いうメロンを出荷している前田さん  
にお話を聞きました。

### スイカとメロン、いかがですか

前田さん宅では、3月〜6月スイカを、  
7月から肥後グリーンメロン、8月から  
冬まではアールスメロンを出荷していま  
す。現在スイカ・メロンコーナーに出荷  
している農家は4、5軒。それぞれ出荷  
日をずらし、お互いに重なりすぎない様  
注意しています。「直売所にあわせて出  
荷するので、収穫予定日から逆算して  
定植時期を割り出しています。」

直売所への出荷は、主に前田さんが担  
当。1日につき大玉（種無し）10個、小  
玉（ひとりじめ）20個ほど出荷。品切れ  
にならない様、昼に補充に行きます。

### 中身も外身もこだわりを

出荷するスイカ、メロンには糖度

チエックが欠かせません。甘さに当た  
り外れのない様、光センサー糖度計で  
チエック。さらにいくつかは、実を切っ  
て、果汁から糖度を計ります。

市場を通さず、直接売り場に出すの  
で、見た目、箱、シールなどのラッピ  
ングまで気をつけなくてはなりません。  
「おかげで仕事時間が増えました。」と  
のこと。

箱は2年がかりで制作した2個入り  
の物。山鹿灯籠踊りのイラストを使い、  
山鹿出身の人が懐かしさを感じる様な  
上品な仕上がりに。ばら売りのものに  
も山鹿灯籠のシールをはり、山鹿産の  
ものであることをアピールしています。

### これからも美味しい商品を

「子供の中体連の応援に、家族みんな  
で出かけた時、直売所のスイカが売り  
切れたという連絡がありました。帰宅  
後、大慌てで収穫し、出荷しました。」  
という前田さん。栽培中だけでなく、  
販売している間も目が離せない様で  
す。しかし、「直売所で『美味しかった  
からまた買いに来た』、『美味しかった  
よ』というお客様の声を聞く時がうれ  
しい。」とのこと。

### 前田さんは、

これからの抱負  
として、「これか  
らも、美味しく  
て安全な商品を  
作りたいです。」  
と話されました。



▲直売所の様子

# …… J A 中央会 ……

## J A 熊本中央会・連合会通常総会開く

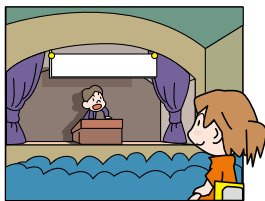
J A 熊本中央会と各連合会は6月30日、熊本市で通常総会を開き、2009年度事業報告を承認しました。

中央会は、①「県J Aグループ共通農業戦略」を軸とした生産基盤の再構築②安心して暮らせる豊かな生活の実現と組織基盤の確立③経営基盤の再構築1等に取り組みました。

経済連は、販売事業の強化を最優先課題と位置付け、生産者手取りの最大化に取り組み、取扱高では、販売事業974億円で計画対比100.2%を達成。総取扱高は計画対比102.1%の1,715億円でした。

厚生連は、①新たなJ A健康管理活動の推進②信頼される健診活動と質の高いサービスの提供1等を重点的に行いました。

園田俊宏J A熊本中央会長は、口蹄疫への本県における防疫対策の実施や、「農業・農村の活性化に向けた政策提言」などに触れ「会員J Aの負託に応えるべく、スピード感をもって取り組みたい」と述べました。



## 熊本県下統一コンプライアンス標語決まる!

J A熊本中央会は6月9日、熊本市で「県下統一コンプライアンス標語」の優秀賞の表彰式を開きました。これは近年J Aにおける不祥事の発生が相次ぐ中、熊本県コンプライアンス連絡会議が、県下J A役員員のコンプライアンス（法令遵守）意識の成熟や、職員全体の不祥事未然防止に向けた風土醸成を図る目的で、県下から標語を募集したものです。応募総数は505点。受賞者は次のとおりです。



▲園田会長から表彰をうけた受賞者

- 不正を行わない役員員のコンプライアンス意識の向上
- 「一度だけそれが不正の第一歩」
- J A やつしる 北部管農センター
- 不正行為を発見・防止する内部監査体制・内部牽制体制の向上
- 「法令は「うっかり」「知らず」に「許さない」
- J A 熊本経済連 畜産生産指導課
- 不祥事を発生させないための職場風土作りの向上
- 清田久美子
- 「役職員一人ひとりがJ A品質」
- J A かみまじき 福祉部 坂本由美子

# …… J A 経済連 ……

## 熊本県・経済連・ハウス食品(株)で共同記者会見

熊本県、J A 熊本経済連、ハウス食品(株)は6月22日、熊本市で地産地消と県産農畜産物の生産振興、消費拡大を目的としたオリジナルメニュー「熊本県産夏野菜を使ったご当地カレーレシピ」を発表、共同記者会見を行いました。三者が官民一体で、食糧自給率の向上を目指す「2010年夏カレーアクションニッポン」を展開します。夏野菜カレーには、熊本特産のトマト(全国1位)とナス(同2位)を主役として取り入れ、旬で栄養満点の夏カレーとして売り出します。

7月1日から2カ月間、プログラムファアの石川遠さんを使った熊本県オリジナルCMを流すほか、8月中旬まで県内スーパー44店舗で、同カレーの試食販売を行います。



▲トマトとなすの夏野菜カレー

## J A グループ農業機械農作業安全出発式



▲挨拶をする上村経済連会長

J A 熊本経済連・J A 農機自動車技術指導士会は、6月21日、農作業事故防止を呼びかけ、農家組合員の農作業安全意識の向上をはかるため、同経済連で「J A グループくまもと農作業安全運動」の出発式を行いました。

これは、県下各地域を広報車で巡回し、農家組合員に農作業安全の重要性、意識向上を訴えることが目的。期間は、7月20日までの1ヶ月間で、同経済連やJ A の農機関係者が巡回を担当します。また、7月から来年3月までの9ヶ月間は、J A の農機関係車両に農作業安全標語の入ったマグネットプレートを張り、各管内巡回で農作業安全運動を展開します。

農業機械安全作業の5原則は、①取扱説明書をよく読んで、正しい技術を身につける②点検整備は必ずエンジンを止めてから③日常点検・点検整備を忘れずに④だろつ運転は危険なため、安全確認を十分に⑤作業は体に合った服装で、ヘルメットの着用も忘れずに、です。

**JA共済 全国小・中学生  
書道・交通安全ポスターコン  
クール作品募集!**

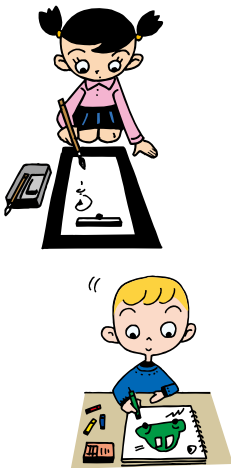
JA共済では、毎年小学生・中学生を対象とした「書道・交通安全ポスターコンクール」を開催しています。

今年も作品募集の時期となりました。小学生・中学生のみならず、夏休みを利用して作品の制作に取り組んでみませんか?ご応募いただいた作品の中から特別賞に輝いた作品は全国大会に出品され、全国大会で入賞すると、東京での表彰式へのご招待があります。

作品応募の締切は9月7日(火)です。詳しくはホームページ、またはお近くのJA窓口へお問合せください。たくさんのご応募お待ちしております。  
**ホームページ**  
<http://www.ko-tsu-anzen.jp/11/>

◆書道コンクール課題◆

	区分	半紙の部	条幅の部
小学生	第1学年	ま め	つ み き
	第2学年	す が た	と ん ぼ
	第3学年	な わ と び	く わ の 実
	第4学年	気 球	大 き な 空
	第5学年	畑 の 作 物	高 い 理 想
	第6学年	無 限 の 力	新 し い 発 見
中学生	第1学年	太 陽 電 池	理 想 の 実 現
	第2学年	農 業 体 験	郷 土 の 伝 統
	第3学年	国 際 理 解	生 命 の 神 秘



資格:他のコンクール等に応募していないもので、かつ模作でないもの。交通法規や規則に反しないもの。固有の名称が記入されていないもの。

【作品の規格】  
用紙:B3判(36・4cm×51・5cm)  
画材:描画材料は特に制限を設けませ

ん。  
①交通安全ポスターコンクール課題  
②交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

③交通安全ポスターコンクール課題  
④交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

⑤交通安全ポスターコンクール課題  
⑥交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

⑦交通安全ポスターコンクール課題  
⑧交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

⑨交通安全ポスターコンクール課題  
⑩交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

⑪交通安全ポスターコンクール課題  
⑫交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

⑬交通安全ポスターコンクール課題  
⑭交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

⑮交通安全ポスターコンクール課題  
⑯交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

⑰交通安全ポスターコンクール課題  
⑱交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

⑲交通安全ポスターコンクール課題  
⑳交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

㉑交通安全ポスターコンクール課題  
㉒交通安全ポスター(児童・生徒に交通法規や規則を守らせようとするもの)

コラム 食と農

JAグループでは、安全・安心な国産農畜産物を提供する取り組みとともに、食のあり方や食料自給率の向上をアピールするため、「食は、日本の未来。」をテーマに「みんなのよい食プロジェクト」を展開しています。

■「笑顔プロジェクト」って?

JAグループが「みんなのよい食プロジェクト」の一環として行っている「笑顔プロジェクト」をご存知ですか?フルネームは「全国高校生対抗ではんDE笑顔プロジェクト選手権」。食や農に興味を持つ高校生が日本の未来を前向きに変えていくために、競い合いながら考え、行動するコンテストです。参加する高校生は「ふるさとをみんなを笑顔」にすることを目標に「新・地域ブランド」の開発計画(プロジェクト)に取り組みます。

課題は地域の「農」とつながること。新たな「食」を生み出すこと。そして、「ふるさと」の人々と手を取り合って地域に笑顔をもたらすこと。半年にわたる活動、そして地区大会(全国5ブロック)と東京で開催される決勝大会を通して、高校生たちが自分たちの地域を

見つめ、日本の食と農の未来を様々な視点から学び、考え育っていく事業となることを目指します。そして、高校生たちの熱いパワーが、日本中を笑顔で元気にする原動力となることを願っています。

■エントリーはホームページから!

同じ高校に在籍中の3名以上でチームを組み、「笑顔プロジェクト」のホームページ(<http://www.egao-p.com/>)からエントリーします。

■現在エントリー受付中!

8月末まで「笑顔プロジェクト」のエントリーを受け付けます!皆様も地域の高校生にぜひ声をかけてみてください!

「よい食クイズ」

Q. イネの葉を食べてしまうカメムシがいる。

ウソ?

ホント?

←正解は裏面へ



安心を選んで組み合わせる  
新しい医療保障です。

JAの  
新医療共済

詳しくは、お近くのJA（農協）へ  
お問い合わせください。  
■ホームページアドレス  
http://www.ja-kyosai.or.jp

サンキューふれあいキャンペーン実施中！ <http://www.3qja.jp> 10481050158

毎月18日は、「弁当の日」



基本的ルール…

役職員自らが

- ①県産品・国産の素材を購入します
- ②自分で作って持参します

「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、食への理解促進と自給率向上、米の消費拡大等を役職員全員で取り組みましょう。



JA 熊本中央会

【よい食クイズ】

答え：ウソ

イネに被害をあたえるカメムシは、若いモミに細長い口先を差し込んで養分を吸います。そのさした部分が茶色く変色して、お米に残ってしまいます。変色したお米は「はてん米」と呼ばれ、見た目や品質が悪くなります。

出展：JA全中発行「ごはんちゃんのお米クイズ（科学編）」より転載



“未来につなぐ豊かな農業”  
第47回 JAグループくまもと  
農機自動車



大 展

同時開催

生活関連用品展示

（2層コンベンションホール）

紳士婦人服、靴、バッグ、

電器製品、ゴルフ用品



2010年 8月3日(火) 4日(水) 5日(木) グランメッセ熊本  
9:00 - 16:00

主催：熊本県下JA・JA熊本経済連 後援：熊本県

● 盟友の皆様のご意見や周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連  
電話 096-3288-1284  
FAX 096-3261-5807

全長は17cm前後、スズメほどの大きさで、くちばしが長く頭が大きい。頭、頬、背中は青く、頭には鱗のような模様がある。この美しい外見から「溪流の宝石」とも呼ばれ、宝石のヒスイはこの鳥の羽の色に由来して名付けられた。カワセミの漢字を「翡翠」とも書く所以である。

カワセミのわらい覗る濁りかな（子規）



● カワセミ（川蝉、翡翠）  
ブッポウソウ目カワセミ科の鳥

あとながき